

Ⅲ. 組織基盤の強化

(1) 効果的な広報・PR活動の実施

○機関紙「大商ニュース」の発行等

本会議所の活動を広報するとともに、経営に役立つ情報を会員に提供するため、機関紙「大商ニュース」を20回発行した。「千客万来都市 OSAKA プラン」に関する事業のほか、関西国際空港開港20周年、生命共済制度発足40周年等について特集し、事業に参画している会員・関係先を紹介した。また、関西国際空港の利用を促進する「関空から飛び立とう」や、大阪の都市の魅力を紹介する「水・食・光・商 大阪の誇り」、人材育成に注力する企業を紹介する「人財企業」等を連載した。

3月には、本会議所の各種事業PRで活用するため、背面に千客万来都市 OSAKA プランのロゴマークを印刷した法被を製作した。



3月、本会議所の各種事業等で活用するために、背面に千客万来都市 OSAKA プランのロゴマークを印刷した法被を製作し、佐藤茂雄本会議所会頭、小嶋淳司本会議所副会頭が披露した。

○Eメールを活用した広報(大商メールステーション)とホームページの充実

企業や個人の関心事項に応じて本会議所事業を効果的に案内するため、「大商メールステーション」を運営し、Eメールによる案内配信サービスを提供した。ホームページでは、トップページなどをリニューアルしたうえで、本会議所事業のタイムリーな情報提供を行った。

[成果・実績]「大商メールステーション」の登録者数は1万6,528人、ホームページの年間総ページビューは74万8,830件になった(URL=http://www.osaka.cci.or.jp)。

○大阪活カグランプリの実施

大阪のチャレンジ精神、パイオニア精神の発信・高揚を目的に、大阪の産業・地域経済に貢献した法人・団体・個人を会頭名で表彰する「大阪活カグランプリ」を実施した。マスコミ各社からなる選考委員会、本会議所役員・議員から26件の推薦があり、その中から選考委員会で7件に絞り込んだ上で、投票を行い、12月にグランプリを選出した。

[成果・実績]グランプリに「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」、特別賞に「あべのハルカス」を選出し、12月の会員交流大会で表彰した。



12月、大阪活カグランプリ2014に「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」、特別賞に「あべのハルカス」を選出し、表彰した。

○定例見学会の開催

会員企業の経営者や経営幹部を対象に、企業・工場、都心開発等の現場見学、見学先代表者・経営幹部の講話を通じて、見聞を広げ研鑽と交流を深める場として定例見学会を開催した。

[成果・実績]陸上自衛隊駐屯地、植物工場研究センター、放送局、住宅設備のショールームの見学を4回開催し、延べ133人が参加した。

○定例朝食懇談会の開催

本会議所役員・議員を中心とした会員企業の経営者や経営幹部を対象に、早朝の時間を活用した定例朝食懇談会を開催した。

[成果・実績]経済情勢、エネルギー問題、科学技術、企業経営等幅広い分野から講師を招聘、10回開催し、延べ870人が参加した。

(2) 3万会員の回復

○会員増強運動の推進

本会議所の「力の源泉」である会員数の3万件達成を目指して、会員増強運動を引き続き展開した。上半期には、「体験しよう！あなたの大阪商工会議所」をテーマに特別入会キャンペーンを実施。本会議所の事業・サービスを利用する未入会企業に事務局による入会勧誘を行うとともに、テレアポインターと訪問員がエリア別、業種別に大阪市内の未入会企業(延べ3万4,085社)に対して、架電のうえ入会勧誘を実施した。さらに、会員継続に向け、新入会員と事業低利用会員を対象に、参加しやすい事業を電話やメール、訪問で案内し、参加につなげる体制を整備(4,446社に対して電話延べ9,367回、メール延べ5,093回、訪問503社)。併せて、議員会社

が新会員を紹介するキャンペーンを実施した。

[成果・実績]新規加入件数2,617件に対して、退会件数が1,444件あり、本年度末の会員数は3万18件と前年度比1,173件の増加となった。新規加入件数の内訳は法人会員898件、団体会員49件、個人会員1,369件、特別会員301件。

○会頭の企業・現場訪問

佐藤茂雄本会議所会頭は、会員企業や商店街、本会議所に関する地域活性化事業等を積極的に訪問し、関係者と意見交換した。

[成果・実績]会員企業や商店街等24カ所を訪問。累計件数は263件になった。



12月、佐藤茂雄本会議所会頭、宮城勉本会議所専務理事は、(株)コーユービジネスを訪問し、同社会長森内康雄氏と懇談した。

○会員訪問活動の実施

事業の利用促進と改善のための意見収集を目的として、事務局による会員訪問活動を実施した。講演会・セミナー・交流会等への参加、サービスの利用を働きかけるとともに、収集した意見は、事業運営や効果的なPR活動に反映させた。また、経営課題を聞きとり、経営相談ニーズの発掘に努めた。

[成果・実績]事務局職員の会員訪問件数は2,647件。平成15年度から実施している会員訪問活動による訪問累計件数は、5万866件に達した。

(3) 議員選挙・改選の円滑な実施

○議員の改選

本年度は議員(定員150人)の改選期(任期3年)であったことから、5~6月に、各部会で2号議員(定数52人)を選任した。また、3号議員(定数22人)を7月の通常議員総会で選任した。さらに、10月に1号議員選挙を行い、会員・特定商工業者の投票によって76人を選んだ。今回は定数76人に対して77人が立候補し、投票総数は11万7,836票、投票率は57.7%であった。

○役員の改選

新議員選任後、11月に開催した臨時議員総会で、任期満了に伴う役員の改選を行い、佐藤茂雄氏(京阪電気鉄道(株)最高顧問)を会頭に再任した。また、副会頭は、西村貞一氏(株)サクラクレパス会長)、小嶋淳司氏((一社)大阪外食産業協会相談役)、古川実氏(日立造船(株)会長兼CEO)、倉持治夫氏(大同生命保険(株)取締役)、手代木功氏(塩野義製薬(株)社長)、尾崎裕氏(大阪ガス(株)社長)、鳥井信吾氏(サントリーホールディングス(株)副会長)の7人を再任した。また、灘本正博氏が専務理事を退任し、新たに宮城勉氏を専務理事に選任した。さらに、常議員(50人)、監事(3人)を選任した。